

ケアハウスあじさい事業報告
(令和2年度)

基本方針より

「ケアハウスあじさい」での生き生きとした暮らしづくりに向けて、転倒骨折などの事故防止や介護予防活動、健康づくり活動に積極的に取り組んでいくとともに、入居者一人ひとりのアセスメントによる個別援助計画を作成し、質の高い個別ケアに取り組んでいく。

1. 生活環境作り

- ・ 季節に合わせた飾り物(しめ縄・鏡餅・ひな人形・五月人形・七夕飾り・クリスマスツリー等)を施設の共用の場に飾り、施設の庭で咲いている花や、時には購入した生花を置くなどをし、入居者に季節感を楽しんでもらった。
- ・ 入居者は職員と一緒に相談しながら飾り付けをすることで、一体感を持ち共用場所の空間に関心を持っていただいた。

2. 介護予防及び健康づくりへの推進・充実

- ・ 毎月行っているいきいきクラブでは、新型コロナウイルス感染症の流行により、外部からの講師を招いての講演会は中止とし、感染予防の対策をしながら折り紙を使って作品作りをしたり、体操や脳を使った運動をすることで、健康づくりに関心を持っていただくよう努めた。
- ・ グランドゴルフ大会では、普段体操に参加されない方も熱心にゲームに取り組まれていた。
- ・ 毎朝決まった時間にラジオ体操をすることで運動不足の予防にも繋がっている。
- ・ 毎朝の健康づくりとして長年続けているラジオ体操について、かんぽ生命・NHKより「2020年度 ラジオ体操優良団体表彰」を頂いた。このことを入居者の皆様に伝えると、これからの励みになる、と喜ばれた。

3. 地域化活動

- ・ 今年は新型コロナウイルス感染症の流行により浦安小学校との交流行事が中止となった。
- ・ 地域交流での「あじさい夏祭り」は感染症予防のため地域の方との交流は行わず、施設内で入居者のみ参加のミニ夏祭りを実施した。
- ・ 平成29年度から介護予防を目的とした「さくら」に毎週金曜日に交流棟を使っていただけるようにしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により開催されなかった。施設から定期的に連絡を取らせていただき、一度、施設の中庭で顔を見せる機会を設けたことでみなさんから喜ばれた。

4. 感染症・食中毒の予防・まん延防止と健康管理

- ・ 昨年度から新型コロナウイルス感染症が流行したこともあり、感染症予防のために必要な内容を掲示し、毎月入居者には茶話会にて感染症予防についての啓発を行った。

- ・ 施設内研修においては、「新型コロナウイルス感染症の対応」についての研修を行うことで感染予防に対する注意を促した。
- ・ 共用部分の手すりや取っ手の毎日の消毒と、来客者に向けた手洗いうがいのポスターでの啓発、自由に使って頂けるように玄関にマスクを置いて予防対策を行った。
- ・ 職員への感染症対策を徹底し、入居者、家族に施設での対応について、状況に応じてその都度書面でお知らせをした。また外部からの訪問者には面会制限させていただき、玄関入口には内容を掲示し感染予防を行った。
- ・ 入居者の中でインフルエンザやその他の感染症にかかった入居者はおらず施設内で蔓延せず落ち着いていた。事務所に加湿器を置き乾燥を防ぎ予防を行った。
- ・ 定期健康診断(胸部レントゲン4月)、インフルエンザ予防接種(10月)の実施。

5. 事故防止対策の徹底

- ・ 施設設備の使用について、入居者から意見を伺う機会（あじさいの会・茶話会）をすることで、予防に向けた早期の対応を実施した。
- ・ 施設設備の不備による事故発生防止の「設備点検管理表」による定期的な点検が出来なかった。来年度の課題として計画していく。
- ・ 居室のナースコールの点検を毎月実地していくことで、緊急時の連絡体制に不備の無いように努めた。

6. 栄養・給食

- ・ 食事アンケートの実施により、個々の嗜好を聞き取りをし、入居者に好まれるメニューは回数を増やすなど、より嗜好に沿うものとなるようアンケートの結果を活かした。
- ・ 毎月の給食委員会で入居者代表の方に参加して頂き、給食に対する要望を徴収し、毎日の献立が入居者の嗜好に合うもので、かつ必要な栄養バランスが取れるものになるよう、日々の献立作りに反映させた。
- ・ いきいきクラブで免疫に関する食事の話をし、栄養に対する入居者の意識付けを行った。
- ・ 毎月の行事食で季節や風情を楽しんで頂いた。
- ・ 今年度は外出があまりできなかったため、外食メニューのテイクアウトを配達し、普段とは違う食事メニューを楽しんで頂いた。
- ・ 日清さんの企画で有名外食チェーン店のカレーや牛丼を食事のメニューとして提供し、施設に居ながら外食のような雰囲気を楽しんで頂いた。
- ・ 日清さんとの協力で、茹でたての冷やしそうめんを楽しんで頂いた。

7. 職員の質の向上

- ・ 施設内研修に今年度も岡山県の講師派遣事業を利用した外部講師を招いたが、コロナウイルスの影響で回数は少なかった。外部で行われる研修も同様少なく参加できていない。リモート研修などを利用し個々の研修参加を増やし、部会などで参加報告をし情報交換を行

っていきたい。

- ・ 接遇・マナーの面では言葉使いや聞く姿勢を常に意識し、入居者やご家族との信頼関係を築けるよう心掛けたい。
- ・ ケアハウスという「見守り支援」の特徴から、状況判断を伴う臨機応変であり、かつ入居者や家族の立場に立った気配りが求められている「豊かな人間性」が今後の研修の課題である。

8. 2棟におけるグループホーム的ケア（認知症ケア）

- ・ 3月現在、認知症高齢者7名、虚弱高齢者1名の心身状況となっている。2棟での支援が認知症ケアというだけでなく、広義での高齢者にとっての家庭的な空間での安心した生活を送っていただく場所となっている。
- ・ 1棟から2棟へ転居することにも取り組み、1棟入居者の安心にも繋がっている。
- ・ 少人数での生活で、それぞれが居心地の良い居場所となるように支援していく、役割を作り出せるように、個別援助を明確化し具体的に行っていくことを課題としている。
- ・ 2棟で孤立した生活を送るのではなく、1棟に出向き歌の会に参加したり、1棟の方達と一緒に行事へ参加したりと交流を持ち、人との繋がりを持っていただく。

9. 趣味・余暇活動実施

- ・ 園芸が趣味でお元気な方が施設の庭の草取りなどを不定期に行って下さっている。
- ・ 余暇活動を増やすことで1・2棟の入居者同士の交流に繋がり、お互い刺激になった。
- ・ 入居者が充実した時間を過ごせるように、関心のあるクラブ活動を増やしていきたい。他にも来て頂ける講師やボランティア等、検討していくことが課題
- ・ 今年度は新型コロナウイルス感染予防のために旅行やヨガ等、実施出来なかった行事もあった。

10. 職員体制 R3. 3現在

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	管理栄養士
1名	1名	(正) 1名	(正) 3名 (非) 3名	(非) 1名

11. 防災

- ・ 年3回の避難訓練・消火訓練については3月に新型コロナウイルス感染症が流行したため、年2回の訓練実施となった。
- ・ 実際に火を熾し消化器やホースから水を出し、消火の練習を行った。
- ・ 避難計画について今後も災害の種類に応じた計画を立てていく。

1 2. その他

あじさいの会(入居者自治会)と茶話会(入居者全員と情報・意見交換)を毎月開催し、入居者間の親睦及び共同生活上での問題点等の改善に努めた。

1 3. 今後の課題

外部で行われる研修へもリモート研修などを利用し積極的に参加できるよう努めていく。勤務を調整してできるだけ参加できるようにしていく。

内部研修にもより力を入れ職員一人一人のスキルアップに繋げ、入居者の方が安心してよりよい生活を送っていただけるよう努めたい。

また、適切な記録の書き方や伝え方を意識し、職員間の連絡・相談を適時に行うことで情報交換をしっかりと行い職員間の連携の向上を図り、入居者や関係者への対応に他事業所との連携にばらつきの無いように努めていく。

設備の老朽化による故障や不具合も増えてきており、修理や更新にも取り組みたい。

ケアハウスらしい自立した生活を少しでも長く続けていただけるよう、潤いのある時間を1日でも多く増やしていくと共に、個別援助計画をより充実したものにできるよう、職員全員で取り組み、日々のケアに繋がっていききたい。

自然災害や感染症などによる非常事態の際にも、事業の継続が出来るような計画を立てて、非常事態に備えていく必要があるその整備に取り組んでいく。

業務継続計画(BCP)の策定をすすめ、訓練・研修に取り組んでいく。

3. 令和2年度 ケアハウスあじさい 事業報告(資料)

(1)平均年齢

R2.3.31

年齢	人数	平均年齢	最高齢	最低齢
男性	12	80	94	68
女性	25	86	98	71
計	37	84		

男女別年齢状況

年齢	男性	女性	合計
60～69	1	0	1
70～79	6	6	12
80～89	4	12	16
90～	1	7	8
合計	12	25	37

(2)入退居月別推移

月	入居	退居	退居理由	退居先
4	0	0		
5	0	1	ADLの低下	特養
6	0	0		
7	0	0		
8	1	0		
9	0	0		
10	0	2	病気の悪化により亡くなる、娘さん宅で同居となる	娘さん宅
11	1	0		
12	1	0		
1	0	1	認知症の進行	特養
2	2	2	ADLの低下、自宅で自立した生活が可能となる	有料老人ホーム、自宅
3	0			
合計	5	6		

(3)介護保険サービス利用状況(累計)

訪問介護

事業所名	H31	R2
あじさい	21	20
ひまわり	6	4
ココファン	0	1
我が家	0	1

訪問看護

事業所名	H31	R2
あーくす	3	2
たんぽぽ	2	0

訪問リハビリ

事業所名	H31	R2
松山医院	1	0
たんぽぽ	2	1

通所リハビリ

事業所名	H31	R2
やすらぎ	1	1
ほがらか	0	0

(4)要介護度

	H31	R2
自立(未申請も含む)	4	3
要支援1	0	0
要支援2	7	6
要介護1	12	15
要介護2	9	10
要介護3	4	3
要介護4	2	0
要介護5	0	0

通所介護

事業所名	H31	R2
ふるさと	11	11
愛光苑	1	1
どるちえ	2	5
アルフィック十日市	1	1
アイル岡南	1	1
ひだまりの里	1	1
塚崎整骨院	1	1
健りハビリ	2	1
リファイン	3	4
かおる	2	1
西市	2	3
ココファン	1	1
ツクイ	4	4
万倍の里	0	1
ワンダフル	0	1
春	0	1
南ふれあい	0	3
美咲	0	2

(5)受診医療機関診療科目

診療科名		
内科	心臓外科	整形外科
呼吸器科	精神科	眼科
循環器科	心療内科	耳鼻科
泌尿器科	歯科	皮膚科

(6) 救急・事故及び苦情解決状況

救急・事故

救急	2件	転倒 2
事故報告	14件	転倒 8、薬渡し忘れ 4、薬飲み忘れ 1、薬貼り忘れ 1

苦情解決

日時	苦情内容	解決策・結果
0件		

(7) 入院状況

性別	理由	入院先	入院～退院
女性	骨折からのリハビリ	博愛会	R2. 3. 30～5. 29
男性	肺の手術	労災病院	R2. 3. 17～4. 12
女性	脱水・体調不慮	労災病院	R2. 7. 30～10. 10
男性	狭心症	労災病院	R2. 9. 26～R2. 10. 3
女性	骨折での手術	労災病院	R2. 11. 7～R2. 12. 1
女性	骨折からのリハビリ	リハビリテーション病院	R2. 12. 1～R3. 1. 21
男性	骨折からのリハビリ	セントラルシティ病院	R3. 1. 12～3. 12
女性	骨折からのリハビリ	博愛会	R3. 1. 28～
女性	体調不慮	セントラルシティ病院	R3. 2. 2～
男性	肺の検査入院	労災病院	R3. 2. 9～3. 18

(8) 入居相談状況

①相談方法別(件)

電話	来舎見学
8	2

②相談者別(件)

本人	家族	関係機関	その他	合計
2	3	5	0	10

(9) 研修

外部研修

月日	職種	研修内容
R2.9.18	施設長	老施協調査研究委員会「コロナウイルスについて」(オンライン)
R3.2.4	施設長	老施協調査研究委員会「コロナウイルス他施設の対応等について」(オンライン)
R3.2.10	施設長	「高齢施設等における新型コロナワクチン接種について」説明・勉強会

内部研修	研修内容
感染症対策委員	新型コロナウイルス対策 ①、②、③、④、⑤ ※毎回感染症・食中毒発生状況の報告あり 「コロナの対応・免疫力を高める食生活」「ウイルスと闘う免疫の話」
事故防止対策委員	「KYTについて」
虐待防止対策委員	「認知症本人の話を聞く」
身体拘束研修会	「身体拘束とは」
その他	

(10)趣味・余暇活動実施と評価

活動名	実施日	内容	総評価
あじさい喫茶	7月	夏祭り風喫茶	今年度は新型コロナウイルス感染症が流行し夏祭りが中止となったため、入居者に少しでも楽しんでいただくために夏祭り風喫茶を行った。手作りのミックスジュースやアイスクリームがとても喜ばれた。敬老会では和菓子、洋菓子を用意し、好きなお菓子を選んでいただいた。これからも入居者の希望にそった喜ばれる喫茶を企画していきたい。
	9月	敬老会 & 喫茶	
ヨガ教室	毎月1回	講師の指導のもと、その人に応じた姿勢を保ち呼吸法に合わせ、マットや椅子を使用して無理のない動きでゆっくり体を動かす。	今年度は新型コロナウイルス感染症が流行したため中止となる。
押し花教室	毎月1回	フォトスタンド、ミニ色紙、コースター、しおり、ハガキ	先生と職員が摘んだ草花で押し花を作り、入居者の皆さんは季節を感じながら押し花を完成することができた。作品作りを通じて個性の発見や会話を楽しまれ、また仕上がった作品はケアハウスの談話室や廊下に展示したりした。また新しく入居された数人の参加者にも楽しんでいただけた。
いきいきクラブ	4月、5月	アンケート実地ウォーキング	今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、外部講師を招いての講演会は中止とし、そのため地域交流が出来なかった。その中で感染予防対策の換気やマスク着用をしながらの室内でのレクリエーションが主となった。七夕やクリスマスの飾り作りは折り紙で作った物を自分たちで飾りつけをし、楽しんで参加していただけたと思う。音楽に合わせての体操や紙風船遊びは初めての試みだったがゲーム感覚で喜んでいただけた。グランドゴルフも人気だった。また、ほぼ決まったメンバーの方が参加されているため、アンケートなどから要望を聞きだし、できるだけ多くの方に参加していただけるようにこれからも工夫していきたい。
	6月、8月	七夕飾り作り ストレッチ体操・玄米体操	
	9月、10月	ストレッチ体操、勉強会「免疫力を高める食事」、ウォーキング	
	11月、12月	折り紙作品作り(クリスマスの飾り) クリスマスの飾りつけ	
	1月、2月	ストレッチ体操&コグニサイズ体操 ストレッチ体操・紙風船遊び	
	3月	グランドゴルフ大会	
園芸クラブ (草花)		施設周辺に季節の草花を植え、散歩コースを造る。珍しい植物を植えたり、草取りもし、入居者と共に話題づくりをする。	植物の成長を見ることで季節感を味わっていただけた。庭にできた季節の草花を入居者の方と一緒に摘み共用スペースや居室に飾り、入居者にも喜んで頂けた。歩行器を使用している入居者が多くなり外での作業が難しくなっている。
園芸クラブ (野菜)		季節に応じて大根・玉葱・さつまい芋を植えつけ収穫する。又、収穫した野菜はそのまま、或いは加工しふるさと祭りなどで販売することで入居者の作業意欲へと繋げることを目的としている。	手伝ってくださる入居者がいて、行事で使うトウモロコシ、大根、サツマイモなどを作ることができた。、来年度もハウスを利用した様々な野菜を計画的に栽培していき販売していきたい。また、新鮮な野菜を食材で提供していき喜んで頂きたい。
おでかけでえ	毎週月曜日と不定期	スーパーへの買い物援助、外出計画援助、市内での催し物(希望外食・講演会など)外出計画援助	新型コロナウイルス感染症により催し物や外食の行事を中止した。週1回の買い物は感染拡大時には中止、又は職員で代行し、感染状況に応じてその都度行先や頻度を変更して行うなど臨機応変に出来たと思う。

(11) 行事・交流事業・各会議実施状況

行事名		地域交流行事		会議	
月	日	内容	日		
4	9	花見ドライブ		企画運営会議	
	23	健康診断		サービス調整会議	
	23	お花見食事会(1・2棟)		給食委員会	
	24	茶話会		感染症対策委員会	
5	6	あじさいの会		企画運営会議	
	9	母の日の贈り物		サービス調整会議	
	19	茶話会		給食委員会	
	25	いきいきクラブ			
6	10	あじさいの会		企画運営会議	
	21	父の日の贈り物		サービス調整会議	
	25	避難訓練		給食委員会	
	27	いきいきクラブ			
	30	茶話会			
7	5	七夕飾り		企画運営会議	
	7	あじさいの会		サービス調整会議	
	21	いきいきクラブ		給食委員会	
	28	ミニ夏祭り		感染症対策委員会	
	30	茶話会			
8	9	あじさいの会	6	夏休みフリー塾(公民館)	企画運営会議
	11	いきいきクラブ			サービス調整会議
	25	茶話会			給食委員会
9	7	あじさいの会			企画運営会議
	11	健康診断(深夜勤務者)			サービス調整会議
	15	敬老会&喫茶			給食委員会
	23	いきいきクラブ			
	28	茶話会			
10	1	お月見会			企画運営会議
	6	あじさいの会			サービス調整会議
	8	インフルエンザ予防接種			給食委員会
	20	グランドゴルフ&芋煮会			感染症対策委員会
	27	いきいきクラブ			
	29	茶話会			
11	6	あじさいの会			企画運営会議
	13	いきいきクラブ			サービス調整会議
	20	茶話会			給食委員会
12	2	避難訓練			企画運営会議
	4	あじさいの会			サービス調整会議
	9	いきいきクラブ			給食委員会
	17	出前食事会			
	21	茶話会			
	23	あじさい忘年会			
1	12	とんど焼き			企画運営会議
	20	ふるさと祭り&新年会			サービス調整会議
	24	あじさいの会			給食委員会
	28	いきいきクラブ			感染症対策委員会
	29	茶話会			
2	2	節分(豆まき)			企画運営会議
	11	あじさいの会			サービス調整会議
	14	バレンタインの贈り物			給食委員会
	25	茶話会			
	26	いきいきクラブ			
3	3	桃の節句			企画運営会議
	8	あじさいの会			サービス調整会議
	24	茶話会			給食委員会
	25	いきいきクラブ			

※毎月一斉清掃を入居者さんに参加していただき行っています。

デイサービスセンターふるさと事業報告（案）

（令和2年度）

1. 基本方針

在宅で生活している認知症高齢者を対象として、可能な限り自宅で、その有する能力に応じて、自立した質の高い生活が出来るよう、プライバシーを守り、的確な支援を行っていく。また、介護者や家族の相談や情報提供に積極的に取り組み、介護者の心身にわたる介護負担や、不安を軽減し、ゆとりある介護を生み出していく。そして、このことにより、認知症高齢者の心の安定を図り、生き生きとした暮らしづくりへとつなげていく。

「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」というケアの方針を基に、画一的なケアではなく、以下の6つの方針を持って認知症高齢者一人ひとりに合った援助を行い、「情」を大切にしたいゆとりあるケアを行っていく。①独りぼっちな気持ちにさせず、話し相手があること。②適度な心地よい刺激がある。③くつろげる、家庭的な環境にある。④その環境に自分の居場所があるという実感がある。⑤強制ではなく「したいこと」ができる。⑥生きがいや出番・役割がある。そのため、介護保険の枠内だけのケアではなく、外出支援などQOLの向上を図る為に必要な援助を積極的に実践していく。

また、地域に開かれた「ふるさと」をめざして、地域住民との交流や地域ボランティアの受け入れを他部署と連携協力し、積極的に行っていく。

2. 令和元年度重点目標に対する評価・反省

(1) 安定した運営が行えるように、利用者の確保と、業務改善に取り組む。

- ① 事業所のPR、広報活動を行う。定期的にブログを更新し、情報発信を行う。
 - ・コロナウイルス感染症予防の為、毎月の利用状況のお知らせ、利用実績はfaxでの連絡を行い、その他連絡があれば電話での情報の交換を行っていった。
 - ・ホームページの活用が出来なかった。ホームページを見て連絡下さった方もおられるので、新しい情報が発信出来るよう、努めていきたい。
- ② 各職員が意識を持って利用者確保に努める。
 - ・年度当初は、前年度末の利用者の減少の影響があり4月、5月と少ない状況であったが、6月以降は新規の利用者様の紹介、受け入れを行い、徐々に増加していった。職員数が少なく、積極的に受け入れが出来ない状況が年間通してあったが、出来る限りの対応を行っていった。
- ③ 職員一人ひとりの介護技術を向上させ、効率的な人員配置を行う。
 - ・利用者確保の為、選ばれる事業所になる為に職員の資質の向上、援助内容の改善など、その都度行っていった。
 - ・職員一人一人が利用者様の事を考え、その方を想った声掛け・援助が出来るようになってきていると思う。
 - ・前年度利用者が減少した時期に、個々に合わせた対応、機能訓練の見直しを行い体制作りを行っていた為、職員の少ない中利用者が増えた状況の時にもスムーズに対応が行えていたと思う。
- ④ 経費の節約を計画的に取り組む。
 - ・使用していない照明、浴室の冷暖房など細めに消すよう徹底した。
 - ・又消耗品の購入先を再検討し、経費削減に取り組んだ。
- ⑤ 法人内の介護保険事業所と定期的に連絡を取り、介護保険の情報や、周辺の介護保険事業所の情報を交換し、事業所間の連携力を高める。
 - ・毎月1回定期的に実施されるサービス調整会議に参加することで、法人内の介護保険事業所との連絡・調整・連携など図れている。

- ・ 周辺の介護保険事業所との情報交換については、連絡を細かく取るなどして取り組んでいきたい。
 - ⑥ 独自の自己評価（事業所及び職員個人）を実施し、意識改善、業務改善に努める。
 - ・ 事業所の評価については、岡山市の自己点検シートを使い評価を行い、業務改善に努めた。
 - ⑦ 通所介護における、各種マニュアルを作成し、全職員のケアの統一に活用する。
 - ・ 職員同士のコミュニケーションを図る中で情報の共有や、ケア方針の検討を行っていった。今後もケアの統一を図っていきけるよう、ケース検討会も行っていきたい。
- (2) 認知症介護の専門性と質の向上、科学的根拠(理論)に基づいたケアの重視。
- ・ コロナウイルス感染症の影響があり、研修自体の参加への機会が少なかった。来年度も、現在の状況の継続はあると思うので、職員の知識の向上の為、情報誌の購読、動画の閲覧なども質の向上の為に取り入れていきたい。
 - ・ バリレーション、見当識訓練（RO）などについても専門的な知識のある職員が少なく、全職員が出来るように勉強の場を持つ事が必要と思われる。
- (3) 特色(専門性)のあるサービスを実践し、地域から信頼される事業所にしていく。
- ① 職員間のコミュニケーションを積極的に行い、小規模ならではの家庭的な雰囲気大切に「ふるさと」で安心して過ごして頂き、利用者が継続して在宅生活を続けていけるような支援を行っていく。
- ・ 職員個々が利用者の事を考え、安心して過ごして頂けるにはどう支援を行っていったらよいか検討を行いながら支援する事が出来ていると思う。
- 実施するに当たっては柔軟な対応が出来る職員の確保や通常の営業時間帯の職員数確保、安全な環境など様々な問題を考え実施出来るように検討を行う。
- ② 「ゆっくり」、「一緒に」、「楽しく」、そして「その人らしさ」を大切にしていく。
- ・ 部会をする時間の確保が難しく、行うことが困難な状況であった。職員間で状況をみながら相談を行いながら対応を行っていった。細かい連絡事項を目につきやすいで統一出来る対応が出来るように行っていた。
 - ・ ゆっくり、落ち着いて利用できる入浴環境、介護機器等を整備し、入浴困難な認知症高齢者を積極的に受け入れ、気持ちよく入浴していただく。
 - ・ 利用者ひとり一人の身体状況にあった浴室で、安全を確保しながらゆっくりと個人のペースに合わせて入浴していただいた。
- 入浴対応は 1 対 1 になるので、困難な方がおられた時は検討会を行い、職員・利用者様が気持ちよく入浴・入浴対応出来る環境を作っていきたい。
- ③ 他の事業者で、利用困難な方でも、「ふるさとなら大丈夫。」と思われるようにしていく。
- ・ 認知症対応型、少人数、個別対応ということで、今まで紹介がなかった居宅介護支援事業所からの利用、問い合わせがあった。受け入れ可能な時は受け入れを行ったが、職員数の関係で十分な対応が難しい時もあり、大半はすぐにお返事出来る状態ではなかった。そんな中でも、少人数・認知症対応型ならではの利用者を受け入れ、利用に繋がれた事もあった。
- ④ 認知症対応型通所介護事業所ならではの細やかな対応を重視し、BPSD（周辺症状）の出現を回避する為の環境整備に積極的に取り組み。
- ・ 御利用者様の状態に合わせて BPSD が減少するように環境整備をその都度行った。
- (4) 地域のボランティアによる余暇活動を積極的に取り入れていく。
- ① 地域の活動にも参加していき、地域の社会資源の活用を検討していく。
- 福文舎全体での地域との交流行事は、今年度はコロナウイルス感染予防の観点から中止が殆どであった。
- 個人ボランティアの希望があり、火・木の午後から 1 時間程来て頂いている。利用者とも

良い関係が作れており、今後も継続して来て下さる予定。

- (5) 安全管理及び衛生管理を研究し、取り組んでいく。
- ① ヒヤリハットの考え方を事故防止に定着させる。
 - ・記録を残すという事が今年度は、行えていない。職員個々が意識を持ち、記録を残し、意識付けをするという事を改めて行えるよう実践していきたい。
- (6) 食事の提供方法を再検討していく。
- ① 人員を割く事が難しく、給食委員会に出席出来ない事が多かった。感染症予防の為、外食やおやつ作りなども控えさせていただいた。出前をとるという形で、ケアハウスと合同で参加させて頂き、食事に変化を持っていただいた。感染状況が落ち着いてくれば、外出の機会が持てたらと思う。
 - ② 担当職員が責任を持って既製品の購入やお菓子作りなど実施してきた。感染予防含め、おやつ作りの機会が少なかった為、活動の一つとして頻度を上げていけたらと思う。今後とも健康面にも気を付けたお菓子の提供が出来るよう心掛けていきたい。

3. 事業内容

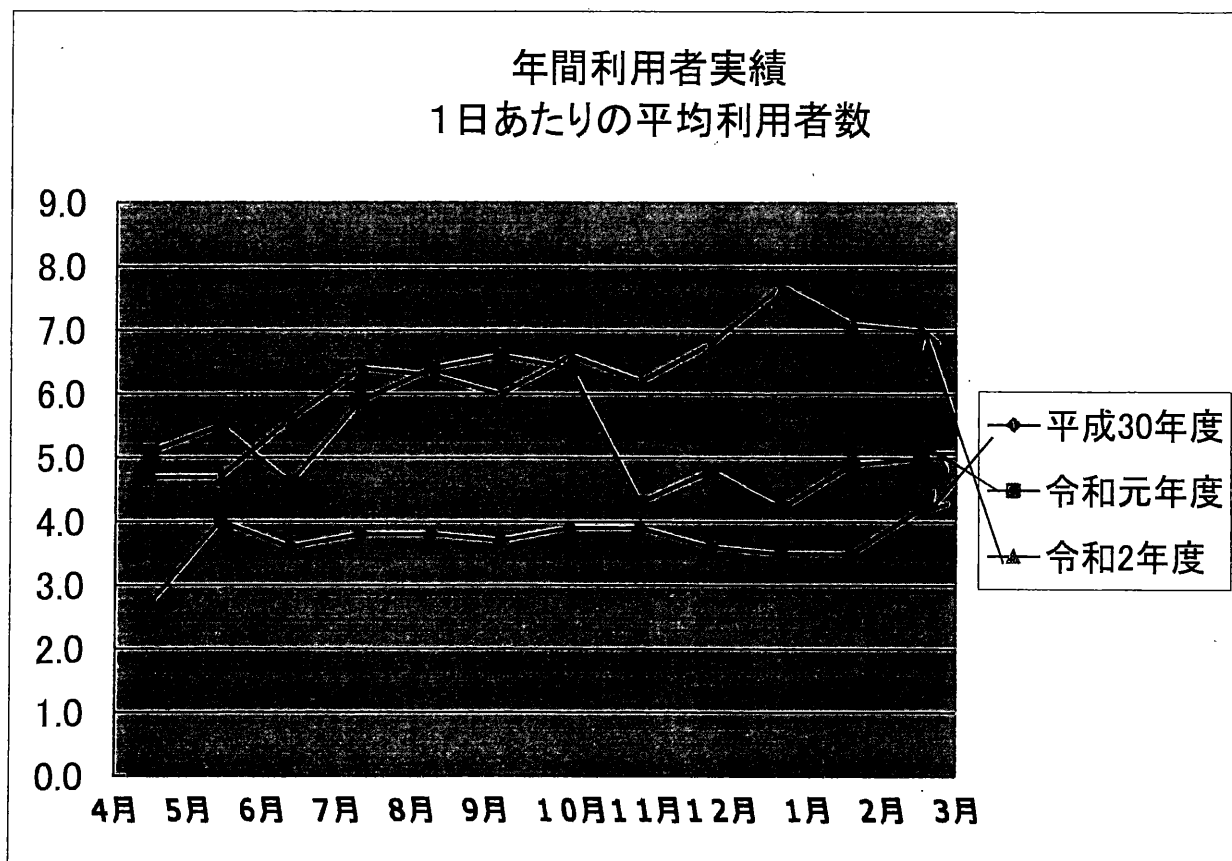
サービス内容、重点目標他についての評価・反省

- (1) 送迎 家族の状況・要望に出来るだけ答えられるよう対応を行っていった。認知症の進行で、なかなか動かせない利用者の方には、お迎えに時間をかけ、何度か訪問するなど、出来る限りの対応を行っていった。それでもお迎えに行き来られるまで時間がかかることが増え、それでも来られない事が増えていき、御家族の意向もあり、利用休まれ、その後利用中止になった方もおられた。お迎えに時間を要する方が何名かおられたが、送迎する職員が利用者の事を考え声掛けや対応を工夫しながら、来て頂けるように工夫を行っていった。又、自宅での排泄介助が難しい利用者に対し、お迎えに行き、そのまま来て頂き援助も行った。今後も同様に柔軟な対応が出来るよう、サービスが使いやすいような対応を行っていきたい。
- (2) 家族の支援 認知症を抱える御家族の精神的な介護負担は大きく、支援・サポートの必要性を感じる。送迎の際に相談やご利用の様子をお伝えし、家での様子をお聞きしたり、お会い出来ない場合は電話での連絡を行い、相談援助を行っていった。運営推進会議を今年度は感染症予防の為行っていないので、来年度開催出来る状況になれば、御家族の方に参加をお聞きし、交流や御意見がお聞き出来る場が出来たらと思う。
- (3) 事故発生 転倒やヒヤリハットは起きており、今後も注意しながら援助を行っていきたい。少ない職員での対応で、移動の際は危険を感じながらの時もあったが、人がいれば事故が起きないわけではないので、常日頃から注意を払っていきたい。
- (4) 相談・苦情等 相談については、その都度担当者会議の時、送迎時、電話などで行っていった。苦情については、特に上がらなかった。苦情も言えるような関係を作っていきたい。

※ 今年度はコロナウイルス感染症の影響で、行事の縮小、中止などが多く、変化の飛んだ御利用内容にはなっていないと思う。職員が少なく、なかなか思った事が出来ない状況でもあった。そのような中であったが、今年はメドマやホットパックを購入し、機能訓練内容も充実し、利用者にも好評であった。

令和2年度年間利用実績(資料)

	利用者状況					
	利用者人数	開所日数	月延利用人数	1日平均利用人数		
				平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	12	24	113	2.7	5.1	4.7
5月	12	24	114	4.0	5.5	4.7
6月	13	25	141	3.6	4.6	5.6
7月	14	26	167	3.8	5.9	6.4
8月	15	24	152	3.8	6.4	6.3
9月	14	25	152	3.7	6.6	6.0
10月	14	24	158	3.9	6.4	6.6
11月	13	23	143	3.9	4.3	6.2
12月	15	25	169	3.6	4.8	6.8
1月	16	22	169	3.5	4.2	7.7
2月	15	23	164	3.5	4.9	7.1
3月	15	26	181	4.2	5.0	7.0
合計	163	291	1,323	3.7	5.3	6.3



令和2年度ヘルパーステーションあじさい事業実施報告

1. 事業内容

訪問介護及び予防訪問介護・日常生活総合事業・保険外自費サービスの月間利用登録者数は、52～62名で増加傾向である。ケアハウス入居者利用者数は15名程度で昨年同様で、地域利用者数が多くなってきている。(資料①・②) ケアハウス入居者の利用者数や内容に大きな変更はないので健康状態も落ち着いておられることは良い傾向かと思われる。利用者を紹介してくださる居宅事務所は、福文舎居宅支援事業所以外からたくさんあり、可能な限りお受けする方向で話をすすめている。(資料④)。紹介利用者住所や居宅事務所は南区南地域にとどまらず、南区西地域や中区地域などからの連絡も多く、ヘルパーステーション事務所から少し遠くても、対応可能な内容であれば、お受けするようにしている。

ケアハウス入居者の利用してくださる方は、掃除・洗濯といった生活援助週1回程度での利用が依然として多い。出来にくい部分のみヘルパーに委ねることで、心身が安定した生活が送られておられるようである。加齢・疾病・認知状態の悪化により、介護度が高くなるにつれ、ケアハウスあじさいでの自立した生活を送ることが難しく、ショートステイ利用や施設入所によりヘルパー利用回数も少なくなる傾向がある。

地域利用者に関しては、要支援者の生活支援訪問サービス(いわゆる家事支援)での依頼も多い。日常生活支援総合事業の生活支援サービスの対応をしないヘルパー事業所が多く、やはり依頼が集中しているようである。本年度は、利用者の心身の状況や家族状況の変化に伴い、小規模多機能型の利用に変更された方も多く、月途中で利用中止になることあった。そういったこともありうることは承知し、要支援・要介護状態に関わらず利用受け入れをしていきたい。

要介護者については、訪問件数総数だけ見れば、前年比大差ない。依然として生活援助利用件数の方が多いが、利用者数が増加していることで、収支としては微増となっている。ケアハウス入居者対応時には、事務所と同地にあることで、訪問時間・回数のご希望に沿いやすい。地域利用者については、移動時間を加味して訪問時間を検討する必要あり、訪問先の場所によっては、ヘルパーの人選も必要にもなるため、お受けできる日時を選らばざるおえないが、今後も身体介護・生活援助に関わらずお受けする体制をとっていく。

介護保険外自費サービスにおいては、字を上手く書けないので手紙を出したいの代筆してほしい方がいると包括支援センターより紹介や同居家族のいるお宅の家事支援の依頼を担当 CM より紹介あるなど、具体的に何をしてほしいかの意向と費用負担をきちんと理解した上で、自費サービスの依頼となっている。自費サービスの利用料が他事業所に比べ安いことが魅力のひとつのようである。公的保険だけではなく、より自分の意向に沿ったより暮らしやすい生活を求めておられるように思う。「自費サービス対応事業所である」ことを、もっと知っていただきさらに利用者を増やしていきたいと思う。(資料⑤)

利用者増加に伴い、看取り期の余命数ヶ月といった方の訪問依頼が時にある。そういった方々の真の要望は何か、またどのように接すればその人らしい最期を迎えることができるのか、体調に変化がないか、訪問看護や訪問診療への連絡はいつすべきかなど、自分の持っている知識をフル稼働させながら対応にあたることになることや本人への告知の有無で対応も異なりまた、利用者本人だけでなく家族へのケアも必要となってくる。看取りケアは、ヘルパーにとって心身をすり減らし気持ちの切り替えに時間を要することもあるが、こういった経験をすることで、質のよいヘルパーが育つ機会にもなる。利用期間も短いため収益には繋がりにくいですが、看取りケアに関しては、まずはヘルパーステーションあじさいに相談しようと思っただけのような気持ちをこめた支援をし

ていきたい。(資料④)

移送サービスについては、有償運送を開始。実際の運用にはなっていないが、問い合わせは、時折あるため準備をすすめている。

2. 活動内容

① 事業内容

身体介護においては、可能な限りお受けし対応させていただきたいと思っている。毎日の同じ時間帯での帯状の対応が難しいため、身体介護利用件数が伸び悩んでいる。しかしながら、週2～3回の入浴介助や食事介助での依頼も増えてきているので、安全に留意しながら対応にあたっている。生活支援においては、初回訪問開始時に決めた訪問回数に大きな変化がなく、家事支援を担うことで安定した生活を送れている方が多いようである。

現在居るヘルパーで、対応可能な時間帯を当て込み訪問を行っている。急な入院・施設入所により、突然訪問先がなくなることもあるが、長い期間をおかず、訪問依頼のお声掛をいただいている。ヘルパーの定着のためにも安定した訪問件数の確保は常に課題である。

保険外自費サービスに関しては、依頼から具体的に何がしてほしいか明確な場合が多いため、各ヘルパーの得意分野を生かした配置も可能となってくる。いかにその人らしい暮らしを支えることが出来るか、こういった依頼もお受け出来る事業所体制を整えていきたい。

又、どんなニーズにも対応出来るヘルパーの育成が必要と思われるため、積極的に研修への参加を行っていきたい。

あらゆる状況で、こういったサービスでも長く在宅生活で暮らしていただけるよう生活環境・家族状況体調変化にもいち早く気付けるよう、サービス提供責任者からは的確な指示を行うこと、又、各ヘルパーには利用者に生活や生命をあずかっているという意識確認を図ること、ヘルパー間でも情報を共有し、知り得た情報を責任者へ確実に報告することを徹底していくことで、長期定期に安定した生活を支えていけるのではないかと考える。

② 研修

県訪問介護事業所連絡協議会研修をはじめ、社会福祉協議会主催研修又、介護職ステップアップ講習など沢山の外部研修がある中で、新型コロナウイルス感染状況が改善されないため、研修の中止やリモート研修となっている。現場対応ヘルパー向けの研修が少ないため、施設外の研修に参加できていない。施設事業所内研修に力をいれ、現場ですぐに使える知識を中心に開催した。来年度については、世の中の情勢をみて参加等判断していきたい。外部研修は、最新の制度の動向や介護・技術情報を知り得ることができ、他事業所の利用者状況・経営状況など情報交換のためにも可能な限り参加を促していきたい。事業所内研修については定期購読させていただいている資料を上手く活用しながら、研修を行うことが出来た。サービス提供責任者としての職員育成のため研修を今後も行っていきたい。制度改正についての勉強や考察力・観察力・予測力を養うための机上研修も積極的に行っていきたいと思っている。(令和2年度実施報告参照) 事業所指示研修以外では、昨年同様、福文舎の研修担当者による、外部講師研修を大いに活用させていただいた。特に認知症当事者の方がお越しになられた研修会は、現場対応のヘルパーには貴重な研修会となったことと思われる。

個々のヘルパーが、スキルアップのために必要な個人的参加希望の研修があれば、状況に応じて勤務調整を行い、しっかりと学べる環境を整えていく方針である。

③ 各関係機関との連携

居宅介護支援専門員(以下ケアマネージャー)との連絡調整が、主になってくる。利用者の担

当するケアマネージャーに、訪問時の変化や要望を、随時、報告連絡し合うことは、出来ている。常に利用者の状態を観察・把握することで、利用者のニーズ把握に努め、利用者を支える「チームケア」の一員であることを意識し、適切な情報提供を行ってきた。これからも、より利用者の立場になって支援していけるようケアマネージャーの言葉にも真摯に向き合って、個々の利用者様の対応に望んでいきたい。

④ ヘルパーの健康管理及び衛生管理

新型コロナウイルス感染症予防対策として、ヘルパーと利用者に対して、マスク着用の徹底・必要に応じての手袋着用・使い捨てエプロンの使用、手洗いや手指消毒の徹底を呼びかけてきた。それぞれの意識が高く、上記状況を徹底している。

我々が身につけるのは、エプロンである。不衛生にならないよう清潔に努め、又、利用者宅においても、身体介護用と生活援助用エプロンの切り替えを適切に行っていくように徹底していく。

インフルエンザ等感染などその他の感染症を受けつけない又持ち込まない持ち出さないといった媒体にならないよう健康管理や衛生管理を徹底する。

⑤ 損害賠償

本年度も手荒く作業された、ヘルパーさんが使い自分はあまり使わないものが破損したので一部負担金をお願いしたいなど等破損が見つかったケースがあった。原因は様々であるが、日ごころからの対応の丁寧さや信頼があれば、破損しなかったケースもある。「いつもの通り」の対応が求められるが甘んじず、対応するヘルパー個々が心身を常に律することで破損・修繕件数を少しでも減らしていきたいと思っている。

3. 令和2年度ヘルパーステーション実施状況（別紙参照）

4. 介護度・月別利用者数（別紙資料①）

ケアハウス・地域利用者数（別紙資料②）

自費サービス利用時間数・収入・人数（別紙資料③）

関係する居宅介護支援事業所（別紙資料④）

訪問内容利用回数（別紙資料⑤）

令和2年度 ヘルパーステーション実施報告

月	日	ヘルパー事業・施設関係 内容	日	研修・会議	日	新規・更新サービス担当者会議他
4	23	春の健康診断	14	サービス調整会議	3	新規サービス担当者会議
		お花見会食	15	企画運営会議・地域交流委員会		新規サービス担当者会議
			20	感染症対策委員会	13	内容変更サービス担当者会議
				コロナウイルス感染症への方針と	17	自費サービス契約
				お知らせお願いの書面配布	18	退所時サービス担当者会議
			23	ヘルパー会議・ケース検討会	28	区分変更サービス担当者会議
		問い合わせ7件		コロナウイルス対策について(事業所内研修)		
5			13	企画運営会議・地域交流委員会	1	新規サービス担当者会議
			14	サービス調整会議	11	新規サービス担当者会議
			24	ヘルパー会議・ケース検討会	12	更新サービス担当者会議
		問い合わせ7件		コロナウイルス対策について(事業所内研修)	29	更新サービス担当者会議
6	25	避難訓練(1棟・夜間 想定)	17	企画運営会議・地域交流委員会	1	退院時サービス担当者会議
			18	サービス調整会議	8	新規サービス担当者会議
			24	ヘルパー会議・ケース検討会		新規サービス担当者会議
				コロナウイルス対策について(事業所内研修)	12	新規サービス担当者会議
					15	新規サービス担当者会議
					16	内容変更サービス担当者会議
		問い合わせ5件			22	自費サービス契約
7	28	夏祭り風喫茶	16	企画運営会議・地域交流委員会	2	新規サービス担当者会議
			17	サービス調整会議	9	新規サービス担当者会議
				感染症対策研修会	22	更新サービス担当者会議
			22	ヘルパー会議・ケース検討会	27	内容変更サービス担当者会議
		問い合わせ3件		コロナウイルス対策について(事業所内研修) ハラスメントについて(事業所内研修)		サービス追加サービス担当者会議
8			19	企画運営会議・地域交流委員会	6	新規サービス担当者会議
			20	サービス調整会議	7	内容確認サービス担当者会議
			26	ヘルパー会議・ケース検討会	11	新規サービス担当者会議
				熱中症・緊急時対応について(事業所 内研修)	18	更新サービス担当者会議
		問い合わせ8件		コロナウイルス対策について(事業所内研修)	20	自費サービス契約
9	11	宿直者健康診断	16	ヘルパー会議・ケース検討会	10	新規サービス担当者会議
				服薬について(点眼・湿布について) (事業所内研修)	16	新規サービス担当者会議
			17	企画運営会議・地域交流委員会	17	新規サービス担当者会議
				サービス調整会議	25	更新サービス担当者会議
		問い合わせ3件			29	更新サービス担当者会議
10	8	インフルエンザ予防接種	14	企画運営会議・地域交流委員会	13	新規サービス担当者会議
	26	グランドゴルフ大会 芋煮会 問い合わせ3件		サービス調整会議	19	内容変更サービス担当者会議
11			17	ヘルパー会議・ケース検討会	2	内容変更サービス担当者会議
				利用者宅に届いた郵便物の取り 扱いについて	3	退院前サービス担当者会議
			18	企画運営会議・地域交流委員会	12	内容変更サービス担当者会議
				サービス調整会議	13	セクハラ対応について家族と話し合い
		問い合わせ3件		20	外部講師研修会(認知症当事者出席にて)	17
12	2	避難訓練	9	企画運営会議・地域交流委員会	26	サービス追加サービス担当者会議
				サービス調整会議		終了に向け、自宅で話し合い
			16	ヤクルト外部講師研修会(感染症に ついて)	6	自費サービス契約
			20	コロナウイルス感染症に対する 年末年始を迎えるにあたり書面配布	18	新規サービス担当者会議
		問い合わせ5件		22	ヘルパー会議・ケース検討会	
1	21	新年会・ふるさと祭り	12	ヘルパー会議・ケース検討会	4	新規サービス担当者会議
			13	企画運営会議・地域交流委員会	8	内容変更サービス担当者会議
				サービス調整会議	13	内容変更サービス担当者会議
2			18	企画運営会議・地域交流委員会	13	区分変更サービス担当者会議
				サービス担当者会議	1	内容変更サービス担当者会議
					3	内容変更サービス担当者会議
		問い合わせ3件			8	退院前サービス担当者会議
				22	新規サービス担当者会議	
				24	更新サービス担当者会議	

3	集団指導(中止)	17	企画運営会議・地域交流委員会	8	内容変更サービス担当者会議
			サービス調整会議	12	退院前サービス担当者会議
		23	ヘルパー会議・ケース検討会	15	更新サービス担当者会議
			買い物代行について(事業所内研修)	18	退院前サービス担当者会議
	問い合わせ5件			29	更新サービス担当者会議

介護度・月別利用者数(資料①)

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	16(14)	16(13)	18(14)	17(14)	17(14)	17(14)	17(15)	18(14)	18(15)	16(14)	15(14)	14(15)
要介護2	11(6)	14(7)	15(7)	16(7)	15(7)	16(7)	16(7)	18(10)	18(10)	15(11)	15(10)	17(10)
要介護3	6(4)	6(4)	5(5)	5(5)	5(5)	5(5)	4(7)	3(5)	3(5)	3(7)	3(7)	3(6)
要介護4	2(0)	2(0)	2(0)	2(1)	2(2)	3(1)	2(2)	3(2)	3(2)	3(3)	4(3)	4(4)
要介護5	1(2)	1(2)	1(2)	0(1)	0(1)	0(1)	0(3)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)
要支援1	5(6)	5(6)	3(7)	3(7)	6(3)	9(4)	8(5)	7(5)	6(6)	6(7)	5(7)	6(7)
要支援2	11(15)	10(16)	11(12)	14(14)	14(13)	12(14)	13(14)	14(12)	15(9)	16(7)	16(7)	14(10)
申請中	0(0)	0(0)	0(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)
計	52(48)	54(50)	57(50)	59(52)	59(47)	62(50)	62(50)	64(50)	64(50)	64(50)	59(49)	59(53)

ケアハウス・地域別利用登録者数(資料②)

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護給付												
ケアハウス	13(11)	13(12)	12(12)	13(12)	13(12)	13(12)	15(11)	14(10)	14(10)	16(11)	15(12)	15(13)
地域	27(16)	28(15)	31(18)	31(19)	28(20)	29(23)	29(23)	29(23)	28(25)	25(24)	27(25)	27(24)
予防給付												
ケアハウス	2(4)	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	2(2)	1(2)	1(2)	1(2)
地域	15(18)	15(20)	16(19)	16(19)	18(19)	21(17)	21(17)	19(16)	21(16)	21(15)	22(15)	21(15)
自費のみ	5(1)	5(1)	5(1)	6(1)	5(1)	6(1)	5(1)	5(1)	5(2)	6(5)	6(3)	5(3)
計	62(50)	63(51)	66(53)	68(54)	66(55)	71(55)	72(55)	69(54)	70(58)	69(58)	71(57)	68(57)

* 請求保留分あり、資料①と利用者数同数でない月あり。

自費サービス利用時間数・収入・人数(資料③) * 1時間=生活援助2000円、身体介護2500円

月	利用時間	収入	人数	サービス内容	単価
R2. 4月	1h x 3	6000円	3名	0.75h x 1	1875円
	1.75h x 1		9月	3h x 2	15000円
	0.75h x 1		3名	1h x 3	6000円
5月	1.25h x 1	7500円	3名	0.5h x 4	4000円
	1h x 1	2000円	10月	1.5h x 1	
4名	1h x 1	2000円	3名	0.5h x 1	6250円
	0.5h x 2	2000円	10月	1h x 1	6250円
5月	1h x 3	6000円	5名	2.5h x 1	8750円
	1h x 3	6000円	5名	1.5h x 1	7000円
6月	1h x 3	6000円	5名	0.5h x 4	7000円
	0.75h x 1		10月	1h x 3	6000円
4名	1h x 1	3500円	5名	0.25h x 1	2000円
	2h x 1	5000円	11月	0.75h x 1	5000円
7月	1.5h x 1	3000円	11月	0.5h x 1	4500円
	0.5h x 1	3000円	12月	1h x 3	6000円
2名	1h x 1	3000円	3名	1h x 1	4500円
	1h x 3	6000円	12月	1h x 3	6000円
8月	0.5h x 2	5000円	3名	1h x 3	6000円
	0.75h x 2	5000円	6名	1h x 3	6000円

関係する居宅支援事業所・平成31年3月現在(資料④) * ()は前年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福文舎居宅介護支援事業所												
在宅介護支援センターなみき												
岡山南地域包括支援センター												
リファインケアプランセンター												
あゆむ介護相談事務所												
博愛会居宅介護支援事業所												
岡山西地域包括支援センター												
アミューズ富永居宅介護支援事業所福富												
介護給付	26(20)	3(3)										
予防給付	6(5)	2(1)										
計	32(25)	5(4)										

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
南岡山ナーシングホーム在宅介護支援センター						
ケアメイトエール						
ういら居宅介護支援事業所						
居宅介護支援事業所 暖家						
計12事業所(昨年は13事業所)						
介護給付	87(77)	103(72)	89(69)	86(60)	98(56)	
予防給付	193(98)	140(122)	132(117)	162(140)	20(33)	
計	34(48)	27(48)	31(50)	256(233)	233(224)	280(229)

訪問内容別利用回数(資料⑤) * 介護給付は、同じ方に1日数回訪問も含め計算。

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体介護	62(101)	73(108)	75(112)	90(112)	96(153)	105(125)	101(131)	87(77)	103(72)	89(69)	86(60)	98(56)
生活援助	132(63)	150(87)	151(81)	168(101)	160(87)	183(97)	193(98)	181(144)	165(116)	140(122)	132(117)	162(140)
身体生活	47(25)	54(24)	18(19)	25(22)	35(31)	33(50)	34(48)	27(48)	31(50)	27(42)	15(47)	20(33)
計	241(189)	277(219)	244(212)	283(245)	291(271)	321(272)	328(277)	295(239)	299(238)	256(233)	233(224)	280(229)

* 予防給付は1ヶ月に何回訪問しても1回として計算

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活支援I	11(6)	13(14)	14(13)	16(12)	21(19)	21(14)	18(12)	18(12)	18(11)	18(10)	18(11)	18(12)
生活支援II	2(2)	1(3)	1(4)	1(6)	2(1)	2(1)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
生活支援III	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
予防訪問I	1(0)	1(0)	1(0)	1(2)	1(1)	1(1)	1(2)	1(2)	2(2)	1(2)	3(2)	2(2)
予防訪問II	2(1)	2(0)	2(2)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)	1(1)	2(1)	1(1)	2(2)
予防訪問III	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)
計	16(20)	17(20)	18(20)	20(22)	26(18)	26(19)	23(16)	22(17)	22(15)	22(13)	22(15)	23(17)

* 自費サービスの内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体介護	0	0	1	0	0	1	1	3	0	0	1	1
生活援助	4	2	3	2	2	2	2	3	3	3	4	4
計	4	2	4	2	2	3	3	6	3	3	5	5

福文舎居宅介護支援事業所 事業報告

(令和2年度)

【事業目標取組結果】

(1) 地域とのつながりを深めて、地域福祉に貢献する

(計画)

(A) 住み慣れた地域で、みんなが生き生きと暮らし、自分らしく生活し、誰もが暮らしやすい地域を地域住民と作り上げていく。「福祉の文化づくり」を目指すため、下記の取り組みを実践していく。

(具体策)

① ケアハウスあじさい入居者を中心に、「あつ晴れ！もも太郎体操」、介護予防教室などを取り組み、その他、地域の自治会・民生委員との交流会を年1回開催する。

② 昨年の8月に1人の退職があり、ケアマネージャー1人の担当利用者数を、日々の業務に追われて前向きな取り組みができていない。

地域に向けた地域に信頼される事業所づくりを目指すためにも、ケアマネージャー常勤を1人確保し、さらに、非常勤のケアマネージャーもしくは、事務員を配置した、自立した事業所にしていく。

(実施結果)

①実施できず。

②昨年の8月に新規に1名ケアマネが採用になったが、ケアマネ初心者だったため、担当数も少ないまま、3月で退職された。

(評価)

①新型コロナウイルスの影響で、集まりを持つことができなかった。

②新しく採用になった職員が長続きしない。ケアマネは医療・福祉・介護および対人援助技術が必要な職種だと思う。今後も職員募集は継続していただき、少しでも収入が増える特定事業所加算を取得したい。

(2) 2020年度 ケアプラン件数年間目標

(計画)

① ケアプラン件数

・令和元年度3月現在 94件/月 (要介護64件、要支援30件)

・令和2年度目標 120件 (ケアマネ常勤3人体制)

※目標設定の根拠・・・上記の取り組みを実施したのちに、常勤ケアマネが1人増えることを考慮している。

<目標達成の為の具体策>

・関係機関との連携を円滑にして、安心して任せて頂ける事業所づくりを目指す。

・医療機関や地域包括支援センター、介護サービス事業所等から信頼を得ることで、新規利用につなげていく。信頼を得るために、適切で迅速な対応を心がけ実践していく。

・今後、地域包括ケアシステム構築に向けて、地域のつながりや支え合いの強化の為に、交流の場として「地域交流会」を定期的実施することで、地域住民との信頼関係を構築し、地域に根差した施設となるように努める。その上で、居宅が窓口となり当法人の他事業サービスの利用につなげていく。

(実施結果)

・8月からケアマネ常勤3人体制となったが、3月末で、104件で目標達成はできなかった。

・コロナの影響で医療機関や地域の関連職種とは連絡が取りにくく、ほとんど進展できなかった。

(評価)

・職員退職により、新規依頼を制限せざるを得なくなってしまう。職員が8月に採用になったが、ケアマネ未経験であったため、プラン件数は思うように増やすことができず、結局、3月になって退職することとなった。

・医療機関は面会ができず、カンファレンスを開催する病院も少なく、情報交換も文書や電話で済ませ、退院してから本人と会うことになり、在宅での生活を計画することが困難だった。

(3)B) 介護支援専門員の資質・向上を図る。

- ① 事業所内会議の充実（不満や苦情への迅速、適切な対応・困難ケースの共有・秘密保持、個人情報 の取り扱い・マニュアル等の見直し）
- ② 定例の居宅連絡協議会への参加。
- ③ 事業所内外の研修に参加し連携を深め、マネジメントに生かす。
- ④ 各自の年間目標を立てる。
- ⑤ 主任介護支援専門員更新研修の参加
- ⑥ 一人ケアマネの居宅と合同事例検討会の実施
例えば、事例提供者に焦点を当てた事例検討会を実施すること通して介護支援専門員として必要となる知識や技術を身に付ける。（説明力・傾聴力・質問力・伝える力を高めていく）
- ⑦ 加算を確実に算定できるようにしていく。（根拠となる書類の確認）
- ⑧ ターミナルケアマネジメント勉強会の実施。
- ⑨ ケース記録の整理（誰が見ても理解し対応ができるようにしていく）

(実施結果)

実施できず。

(評価)

職員の出入りでバタバタし、コロナ渦の中、現状維持ができたことが成果と思う。令和3年度には、事務員を採用していただき、新しくクラウド型ケアマネソフトを導入していただいたことで、通信機器を活用し事務業務の省力化を図っていききたい。

(4)その他

1)利用の相談・苦情への対応

・今年度、特記するべき苦情件数は、なかった。

2)各種請求事務

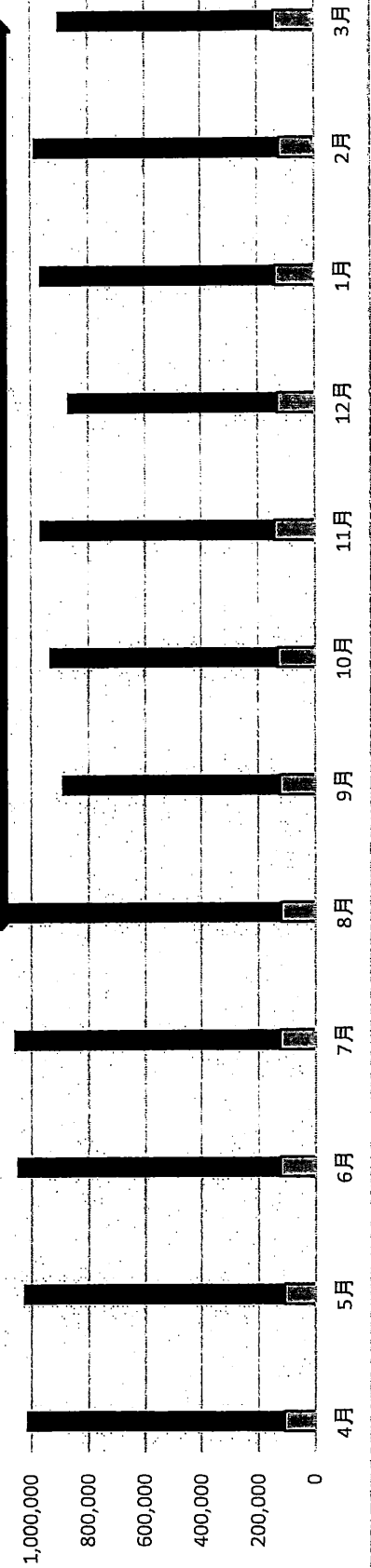
請求事務はプラン数が増えることで、少し煩雑になったが、予防プランの請求は、メールでのやり取りとなり、事務量の軽減につながった。

3)研修

コロナの影響で、研修はリモートになっている。岡山市事業者指導課が実施する集団指導はなかった。来年度はコロナ助成金で導入した通信機器を活用して研修に参加ができるようにしていきたい。

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計						
	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	ケア	地域	合計	占率			
支援1	1	8	1	11	1	11	1	12	1	12	1	15	1	15	1	15	1	15	1	15	1	11	1	15	14	145	159	13%			
支援2	4	15	4	16	4	16	4	16	3	15	3	16	2	18	2	18	2	18	2	18	2	18	2	19	34	200	234	19%			
介護1	10	15	11	15	10	13	12	13	10	13	10	14	11	14	11	14	11	14	12	14	13	14	12	12	134	163	297	25%			
介護2	5	16	5	17	7	21	6	22	8	16	8	21	8	22	8	24	8	24	8	15	8	21	17	25	95	244	339	28%			
介護3	3	7	3	7	2	7	2	7	7	8	2	9	2	8	1	8	1	8	1	8	1	8	1	6	26	89	115	10%			
介護4	1	5	1	3	1	3	1	3	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	2	36	38	3%				
介護5				1		3		2		2		1		2		2		2		2		3		1	0	20	20	2%			
支援計	5	23	5	23	5	27	5	27	4	27	4	28	4	30	4	33	3	31	3	33	3	29	3	34	48	345	393	33%			
介護計	19	43	20	43	19	45	20	45	25	41	20	47	21	49	20	52	21	43	21	43	22	50	30	47	20	47	257	809	67%		
合計	90	91	96	97	99	97	104	104	109	108	109	98	108	109	104	109	104	104	109	108	109	109	109	104	104	1202	1202				
初回(支)	1			2		2		2		1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	11	14	29%		
初回(介)	2	2	4	2	1	2	1	2	1	2	2	1	1	6	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	7	25	32	65%		
入院I			1																							0	2	2	4%		
入院II																										0	0	0	0%		
退院1有																										0	1	1	2%		
退院1無																										0	0	0	0%		
退院2有																										0	0	0	0%		
退院2無																										0	0	0	0%		
退院3無																										0	0	0	0%		
ターミナル																										0	0	0	0%		
加算計	2	3	0	5	0	1	0	1	1	3	1	2	1	7	2	5	1	3	1	3	1	0	0	3	1	2	10	39	49		
訪問調査	3	2	4	1	4	1	7	2	2	1	3	2	4	2	3	3	2	3	2	3	5	2	1	3	1	6	18	44	62		
支援報酬	108,360	108,360	123,840	123,840	123,840	119,970	123,840	131,580	143,190	131,580	143,190	131,580	139,320	139,320	143,190	123,840	143,190	131,580	131,580	139,320	828,584	866,404	866,404	761,721	10,254,725	1,520,910	(円)				
介護報酬	907,924	918,522	925,904	936,502	972,828	768,175	803,775	825,357	825,357	739,029	828,584	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	866,404	(円)	
加算報酬	15,315	14,294	14,294	3,063	12,252	9,189	24,504	21,441	21,441	15,315	3,063	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	151,108	(円)				
調査報酬	9,720	19,440	16,200	25,920	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	202,800	(円)				
報酬合計	1,041,319	1,060,616	1,080,238	1,089,325	1,118,010	914,164	979,659	999,888	999,888	902,424	994,067	1,012,633	937,200	12,129,543	12,129,543	(円)															

職員1名横倉



■ 支援報酬 ■ 介護報酬